

いけいけ 最チン君!

ボクの出番がふえたら

ボクは労働者のミカタ「最チン君」。産みの親は生協労連。最低賃金(最賃)をせめて1000円に引き上げるために生まれたんだ。最低賃金はどんな労働者であろうとも使用者が最低でも支払わなければならない賃金のこと。この最賃が上がれば労働者は安心してらせることができるんだ。商品を買うこともでき地域経済が潤って、いいことづくしなんだよ。

だけど、今の最賃は1000円には遠く、低すぎるのが問題になっているんだ。

誰でも
1000円以上
どこでも
1000円以上

だからがんばるよ

昨年はボクや全国のなかまもがんばったおかげで、「日本の最低賃金は低すぎる」と国会で問題になったんだ。そして、「生活保護基準を上回る水準に引き上げる」という内容で「最低賃金法」が改正されたんだ。

いよいよ最賃も1000円になって、ボクもお役ごめんだ、と思ったら、今年の改定は東京都で29円アップだけの766円。生活保護基準を少なく見積もっても約300円下回っているんだ。フルタイムで働いても月収13万円弱、年収で160万円程度。これじゃまじめに働いても生活は苦しくなってしまうよ。

「そんなの許せない」と生協労連は最賃を引き上げるために今年ももっと奮闘しようと決意したんだ。11月13日には第3回最賃闘争交流決起集会も開いたんだよ。最賃を引き上げるためには、私たちの声をちゃんと聴いてくれる人が最賃審議委員に選ばれること。今年は生協労連から31人が立候補したんだ。だけど一人も選ばれなかった。それでも生協労連はめげずに、今年も委員の選出になかまが多く立候補するよ。

ボクの産みの親、生協労連ががんばれば、きっと最賃は1000円になるよ。そのためにもボクの出番を増やしてね。

知っているかい? 最賃の常識



先進国のほとんどは全国一律最低賃金制。47地域に別れて決めているのは日本ぐらい

47の地域別に分けられることで、地域間格差がますます広がります(08年は最高:東京・神奈川766円 最低:宮崎・鹿児島・沖縄627円。その差は139円。07年の差は121円)。全国一律にすれば格差は縮まり、安心して労働者は働くことができます。



世界では時給1000円以上が常識

「国際競争が厳しいから低賃金はやむをえない」と経営者側のみなさんはいいますが、他の先進国の最低賃金をみても、イギリス=1139円 フランス=1162円 ベルギー=1070円 オランダ=1139円 月額20万円とか、時間額1300円などもめずらしくありません。



「最賃引き上げ=中小企業は倒産」は取り越し苦労

イギリスでは全国一律の最低賃金制度が始まった1999年から、毎年改定され、8年間で53%も引き上げられました。その結果、地域にお金が循環し、雇用状況も好転しつつあります。中小企業への支援は最賃の引き上げとは別に、きちんとおこなうべきことです。